

保護者の皆様

松山市立東中学校  
校長 神野 泰二

令和7年度学校評価の結果と分析について

仲春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、過日実施しました「令和7年度学校評価アンケート」の結果と分析がまとまりましたので、次のとおり概要をご報告いたします。

なお、詳細な結果と分析につきましては、学校のHPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

記

1 目的 学校の教育活動や学校運営の状況についての評価に基づいて、学校教育の質の保証・向上を図る。

2 方法 ○ 四段階の選択肢から選択する「四件法」(Microsoft Formsを活用)  
○ 「よくあてはまる」及び「あてはまる」を肯定的回答として集計  
○ 松山市教育委員会が定める18項目を生徒、保護者、教職員で比較



結果と分析 (詳細版)

3 結果と分析 (概要版) ※増減の記号 増 [△+3、△△+5、△△△+10] 減 [▼-3、▼▼-5、▼▼▼-10]

	質問項目	対象	肯定的回答率				◆成果の要因 ○今後の方策
			第1回	第2回	変容		
主な成果	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	生徒	86.5%	89.6%	+3.1	△	◆総合的な学習の時間や学校行事で、豊かな地域人材を活用した講座・講演を実施したり、地域での、防災に関する調査、マイロード活動、職場体験学習を実施したりしたことで、地域の人・もの・ことへの関心が高まり、郷土への愛着や誇りの育成につながっている。  ◆授業での対話的な学びの場の設定や、人間関係力向上プログラムの継続的な実施など、伝え合う活動を多く取り入れた教育活動が奏功している。また、掲示板の手書きメッセージ、生徒作品、季節の貼り物、学年掲示など、温かで落ち着いた環境整備が評価されている。
		保護者	93.0%	95.3%	+2.3	-	
		教職員	92.6%	100%	+7.4	△△	
	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	生徒	95.0%	97.6%	+2.6	△	
		保護者	94.2%	97.0%	+2.8	-	
		教職員	100%	100%	0.0	-	
主な課題	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	生徒	86.7%	90.9%	+4.2	△	○本校は、松山市幼保小中連携推進事業の研究推進校であり、合同研修等を通して連携が密に図られている。研修等で得た学びを日々の授業づくりに生かすためにも、すべての教員が年間を通した取組の意義を共有し、理解を深めていけるよう、機会をとらえて啓発する。  ○生徒の肯定的回答率が上昇しているのに対し、保護者、教員の肯定的回答率が大幅に減少している。年間を通して、小中連携の具体的な取組や成果を教職員で共有できる体制を整えるとともに、ホームページ等でも積極的に発信していく。
		保護者	90.8%	94.5%	+3.7	△	
		教職員	96.3%	87.5%	-8.8	▼▼	
	学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	生徒	92.6%	95.3%	+2.7	-	
		保護者	93.8%	88.0%	-5.8	▼▼	
		教職員	100%	92.3%	-7.7	▼▼	

保護者・地域の方々のご理解とご支援により、18項目の全てにおいて大変良好な結果となっております。引き続き、生徒の基本的な生活習慣の定着や学力の向上に努めてまいります。

<本件連絡先>  
松山市立東中学校  
教頭 藤野 由起子  
(Tel 089-924-8588)